

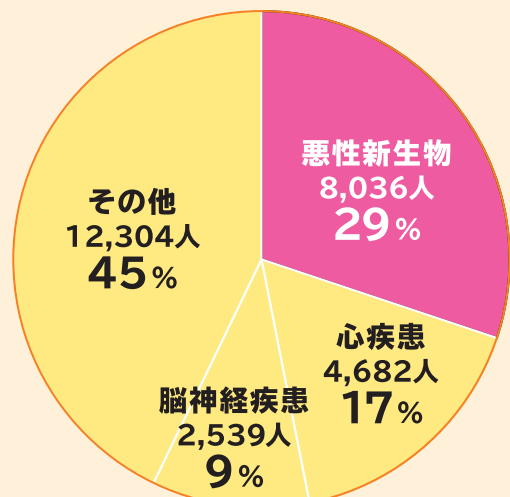


ご存知ですか？がんのこと。

がんにかかる人は、40代から増加します。

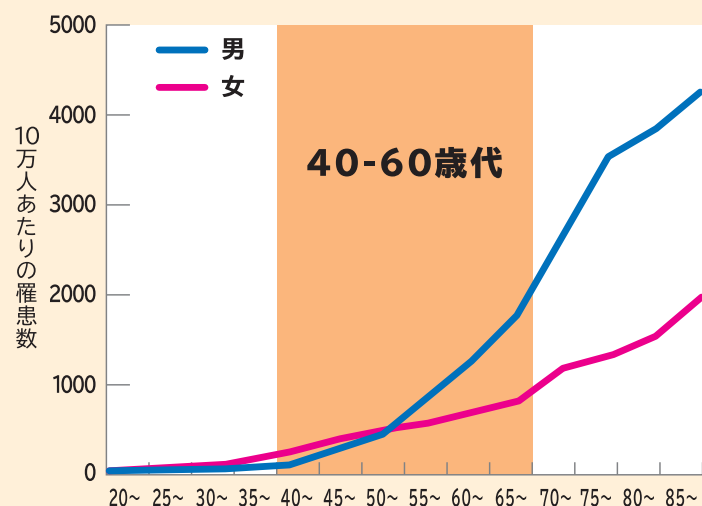
広島県において、がんは昭和54年から死因の第1位となっており、毎年約8,000人の方が亡くなっています。特に40代からがんにかかる人は増加傾向に。しかし、がんは予防することができる病気です。そのためには、早期発見が何よりも大切です。

平成22年 広島県の死亡者数の内訳



[出典]平成22年度厚生労働省人口動態統計調査等

平成18年 年齢階級別がん罹患率



[出典]広島県のがん登録(平成18年集計)

早く見つけることで、治る確率は高くなります。

現在の日本における“大腸がん”の5年生存率

(がんと診断されてから、5年後に生存している患者の割合)



*早期とは限局(がんが原発臓器に留まっているもの)。厚生労働省がん研究助成金「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」H19年度報告書

40代になったら「がん検診」の習慣を。

効果のある「がん検診」を定期的に受けましょう。

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診及び胃部エックス線検査	40歳以上	年1回
肺がん検診	問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回
子宮がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回
乳がん検診	問診、視触診及びマンモグラフィ	40歳以上	2年に1回

県内すべての市町でがん検診を実施しています。

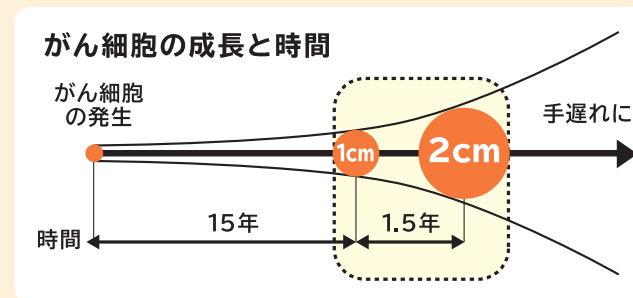
自覚症状のないがんを早期発見するためには、定期的な検診が欠かせません。市町が実施するがん検診では、家計に負担の少ない料金で定期的に受診することができます。詳しくは、お住まいの市町へお問い合わせください。

検診料金

1項目につき **200~2,000円程度**
※上記料金は目安ですので、市町によってはこれらの範囲外となる場合があります。

知らないうちにがん細胞は成長しています。

乳がんの例



乳がんでは、がん細胞が1cmになるのに15年以上かかりますが、1cmのがんが2cmになるのには2年もかかりません。早期の乳がんは2cm以下を指すため、乳がんを早期に発見するには、2年に1度は検診を受ける必要があります。

【出典】厚生労働省「乳がんと子宮頸がん がん検診無料クーポン券つき女性のためのがん検診手帳」

あなたの健康を応援したいから。

がん検診 無料クーポン券

市町では5歳刻みの対象者へ「子宮頸がん」「乳がん」「大腸がん」検診の無料クーポン券を配布しています。無料クーポン券が届いたら、がん検診へ行きましょう。

